

県立学校における在校時間調査の結果について ～平成27年度から平成29年度までの年間比較～

1 趣 旨

県立学校教職員の在校時間の把握について、健康管理対策を図るため平成24年9月に策定した「宮城県教育委員会における職員に対する健康管理対策実施要領」（以下「実施要領」という。）に基づき、正規の勤務時間外における在校時間の把握を行っている。
実施要領で定める基準（月80時間を超えた者、月45時間超を3月以上連続した者、所属長が健康への配慮が必要と認める者）に該当し、希望する者については、指定医師による面接を実施し、自己の健康管理につなげている。

2 正規の勤務時間外における月80時間超報告者について

（１）県立高等学校

※割合…小数点第二位四捨五入（以下同じ）

区分 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度との比較
学 校 数 (校)	70	70	70	0
教 職 員 数 (人)	4,055	4,012	4,001	△ 11
報 告 者 数 (人)	1,554	1,566	1,544	△ 22
割 合 (%)	38.3	39.0	38.6	△ 0.4

（２）県立中学校

区分 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度との比較
学 校 数 (校)	2	2	2	0
教 職 員 数 (人)	41	42	39	△ 3
報 告 者 数 (人)	22	23	24	1
割 合 (%)	53.7	54.8	61.5	6.7

（３）県立支援学校

区分 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度との比較
学 校 数 (校)	18	19	19	0
教 職 員 数 (人)	1,644	1,650	1,683	33
報 告 者 数 (人)	36	39	44	5
割 合 (%)	2.2	2.4	2.6	0.2

（参考）市町村立小学校の状況

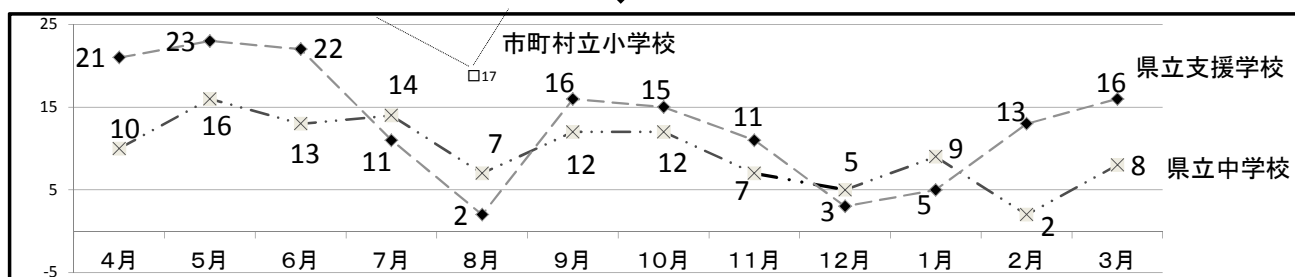
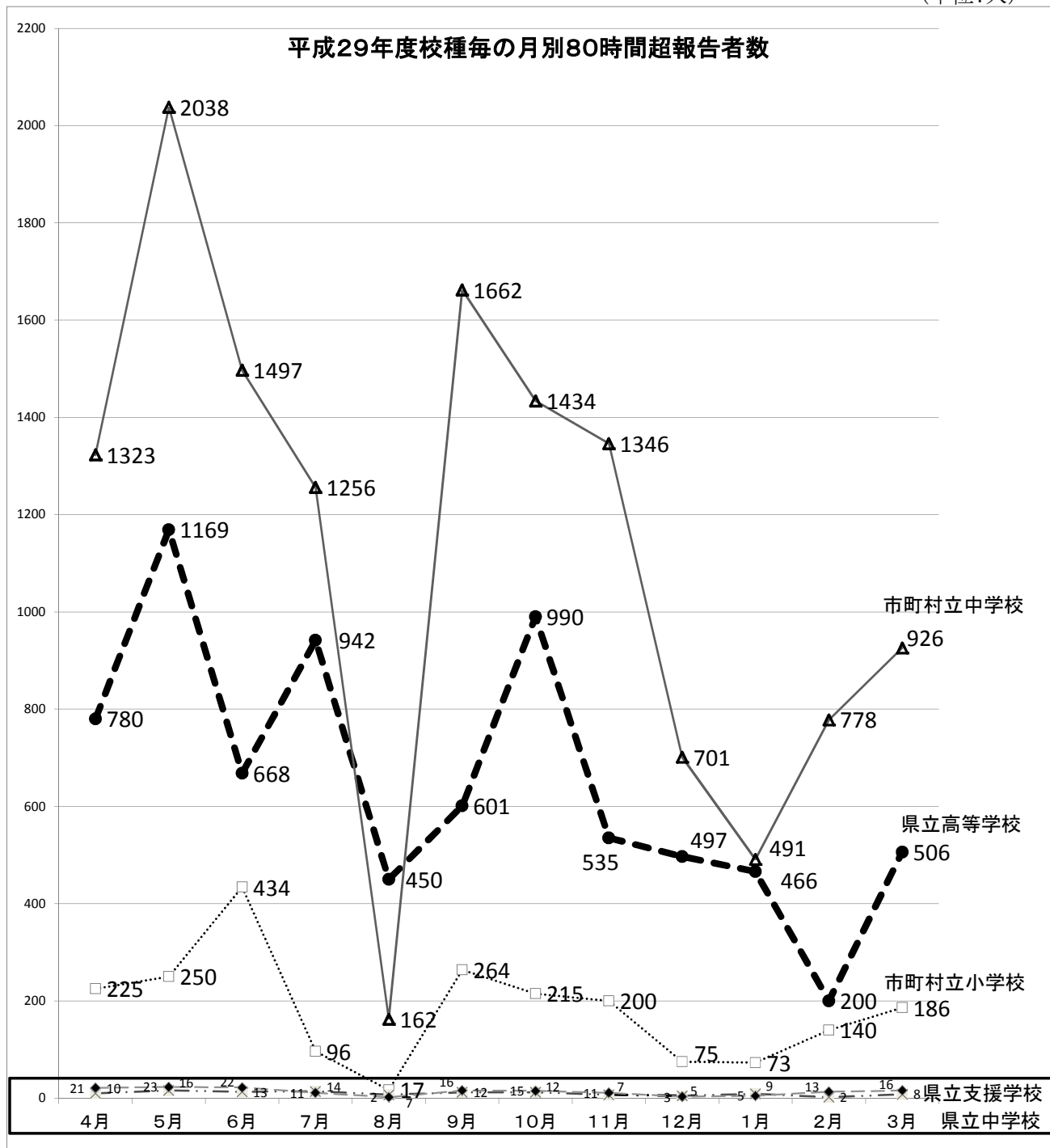
区分 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度との比較
学 校 数 (校)	388	384	380	△ 4
教 職 員 数 (人)	7,988	7,989	7,923	△ 66
報 告 者 数 (人)	542	658	634	△ 24
割 合 (%)	6.8	8.2	8.0	△ 0.2

（参考）市町村立中学校の状況

区分 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成28年度との比較
学 校 数 (校)	200	200	198	△ 2
教 職 員 数 (人)	4,859	4,895	5,000	105
報 告 者 数 (人)	2,211	2,411	2,599	188
割 合 (%)	45.5	49.3	52.0	2.7

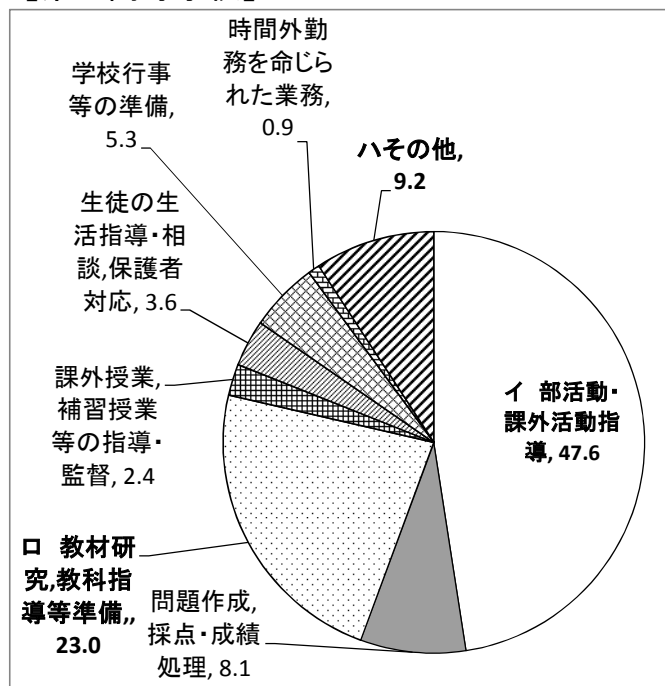
3 校種毎の月別80時間超報告者数の傾向

(単位:人)



4 主な従事内容〔平成29年度〕

【県立高等学校】

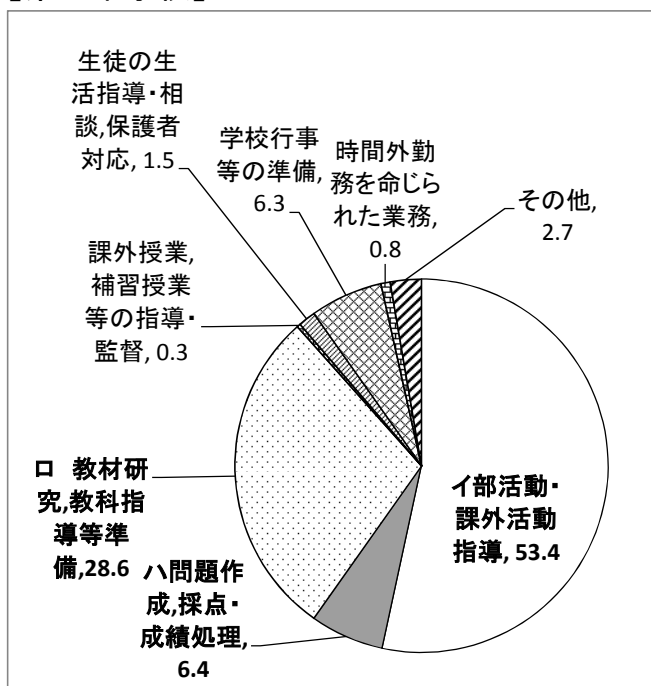


■その他の従事内容

進路指導, 校務分掌業務, 入試業務, 高文連, 高体連, 教育研究会 他

【県立中学校】

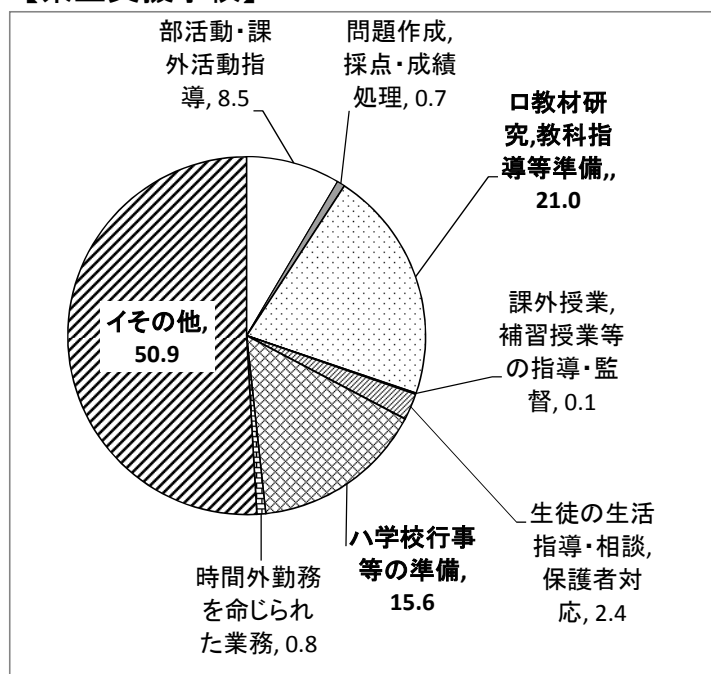
(単位: %)



■その他の従事内容

学校説明会, 入試業務, 資料作成, 中体連, 教育研究会 他

【県立支援学校】

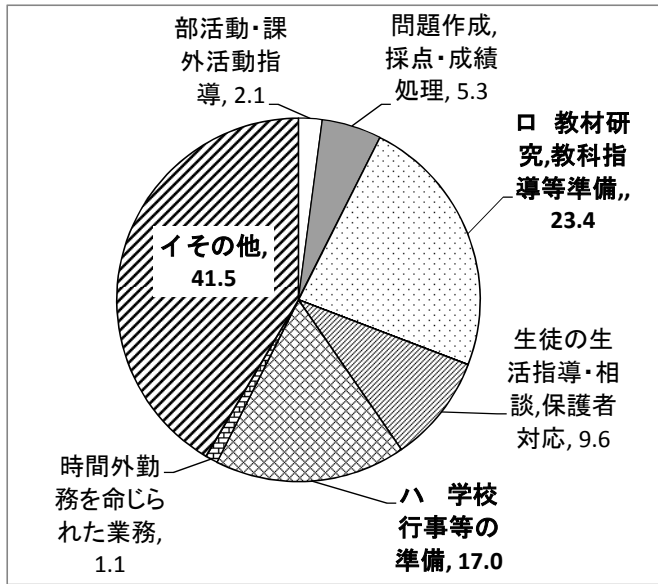


■その他の従事内容

危機管理, 入試業務, 資料作成, 舎監, 校務分掌業務 他

(参考)

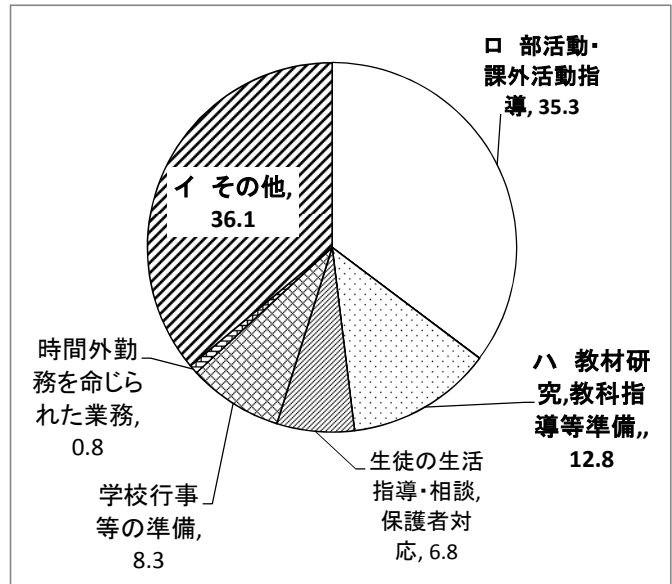
【市町村立小学校】



■その他の従事内容

校務処理, 人事用務, 地域対応業務, PTA対応業務, 保護者対応, 各種報告等作成, 公開研究会準備 他

【市町村立中学校】



■その他の従事内容

校務処理, 地域対応業務, PTA対応業務, 保護者対応, 調査報告等作成, 防災関連会議準備 他

5 各所属における在校時間縮減に向けた主な取組状況

○会議	<ul style="list-style-type: none"> ・校内会議やPTA会議の精選, 運営委員会の廃止など会議の持ち方の工夫 ・職員会議資料の事前配付。(短時間化の徹底), 各種会議資料への進行時刻記載 ・会議開催時期の精選(学年末・長期休業中・金曜日には行わない等) ・事前の議題調整・精査(担当部署の打ち合わせ・運営委員会等)
○校務分掌	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の見直し(担当の複数配置やチーム制による負担の軽減) ・担任以外の教員が授業や生徒指導に関わり, 担任の負担軽減(ワークシェア) ・業務量の平準化(特に教頭, 主幹教諭, 主任間の調整など)
○授業等 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を生かしたボランティアの活用, スクールカウンセラー等の専門職員の活用 ・行事の精選, ねらいの明確化(事前準備の縮減) ・職場体験の長期休業中の実施, 定期考査中に極力行事をいれない
○事務処理 の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理のICT化(校務支援システム・職員LAN・共有フォルダー等の活用) ・諸表簿, 公簿や成績処理の電子化(学校日誌, 通信票等) ・各種記録の簡略化(簡条書きを励行:授業指導記録や生徒指導の記録等)
○管理職から の指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職からの日常的声かけや率先的姿勢, 過重労働に対する意識啓発 ・定時退勤(努力)日(名称:No残業デー, フレッシュデー) ・教職員の意識改革(ワークライフバランスや遅くまで残らない習慣づけ等) ・退勤が遅くなる場合の事前申請, 最終退勤時刻の設定 ・在校時間が著しく多い教職員に対しての面接指導, 校務の進捗状況を把握 ・部活動は, 土日のうちどちらかを休養日とするように, 年度当初の職員会議で指示 ・機械警備に替わる7時30分には蛍の光を流したり, 帰るよう声かけを行う ・「タイムマネジメント」について指導・助言, 年次有給休暇の計画的な取得を推進 ・風通しのよい職場作り
○部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・休養日の設定と厳守:ノ一部活動の日の設定(土日のどちらか及び月曜日) ・年間を通じた平日の部活動休止日の設定, 長期休業中の土日の部活動禁止 ・複数顧問制の導入, 外部指導者の活用(導入), 参加する大会の精選

6 在校時間が長い教職員への対応

- 在校時間縮減に向けた取組
 - ・「部活動での指導ガイドライン」の徹底
 - ・「多忙化解消ワーキンググループ」での研究
 - ・管理職向け過重労働セミナーの開催
 - ・各校の取組事例の紹介
- 情報の提供と共有
 - ・職員安全衛生委員会
 - ・県立学校長会議
 - ・市町村教育長会議
- 在校時間が長い教職員のケア
 - ・所属（所属長・職員）への訪問指導
 - ・医師による面接指導
 - ・メンタルヘルス等相談事業の開設